

コア・メトロネットワークの開通・保守、装置検証を 充実したOTN試験機能で強力にサポート

MT1100A
ネットワークマスタ フレックス



OTNは、クライアント信号を伝送しますが、従来のOTN用フィールドテストは、バルク試験信号によるOTN試験しかサポートしていないため、インサービスにおいて伝送されるクライアント信号を乗せた実環境での問題を検出することができませんでした。また、マルチステージマッピング、ODUflexなどの新しいマッピングが採用されるようになり、テストにもこれらの100Gbpsまでのマッピングの実装と、すべてのマッピングレベルにおけるアラーム/エラー評価が必要になっています。ネットワークマスタ フレックス MT1100Aは、クライアント信号として、イーサネット、CPRI、ファイバチャネル、およびSDH/SONETをサポートし、実環境信号でのOTN回線の検証ができます。また、OTNマッピングでは、マルチステージマッピングやODUflexに対応しているため、新しいクライアント信号に対応したOTN装置の検証を強力にサポートします。イーサネットやSDH/SONETの各種テストをOTNにマッピングしたクライアント信号として実行することで、より実回線に近い状態での評価ができます。

MT1100Aは、従来から最新までの通信ネットワーク技術に1台で対応します。用途に合わせた3種類のモジュールのうち、2つのモジュールを同時に実装、動作でき、1.5Mbpsから100Gbpsの通信ネットワークや伝送装置の研究・開発、製造、開通・保守での伝送試験を1台でサポートします。12.1インチの大型カラー液晶、見やすく分かりやすい画面表示や、タッチパネルによる操作、遠隔地からのインターネットを經由しての操作（リモートGUI機能）などの多彩な機能を備え、検証作業の効率向上に貢献します。



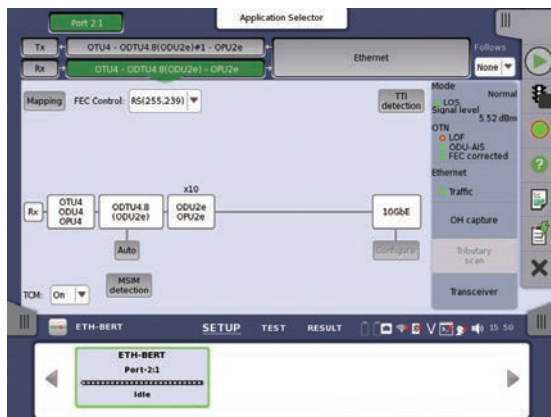
主な特長

- オールインワンのトランスポートテスタ
1.5Mbpsから100Gbpsまでサポート
OTN、イーサネット、CPRI/OBSAI、ファイバチャネル、SDH/SONET、PDH/DSn
- OTN試験（イーサネット、CPRI、ファイバチャネル、SDH/SONETクライアント信号）
- 使いやすい分かりやすいGUIメニュー
- 全レートにおいて最大4ポート同時測定
- CAUI、XLAUI電気インタフェース（エクステンダオプション使用）
- WLAN*/Bluetooth*/LANとの接続
- 試験結果をPDF、CSV、XMLでレポート生成
- リモートGUI操作（VNC、専用GUI操作ソフト）
- リモートコマンド操作（スクリプト、イーサネット、WLAN、GPIB）
- 持ち運びが容易な可搬設計
- 最大の投資効果を可能とするモジュール型プラットフォーム

主なアプリケーション

- OTU1、OTU2、OTU1e、OTU2e、OTU1f、OTU2f、OTU3、OTU3e1、OTU3e2、OTU4試験に対応
- マルチステージマッピング、ODUflexをサポート
- OTNレベルでのバルク信号によるOTN試験をサポート
- OTNのエラー/アラーム統計情報表示
- G.8201、M.2401に準拠したOTNのエラーパフォーマンス測定に対応
- ITU-T O.182に適合したFEC試験をサポート
- イーサネット、CPRI、ファイバチャネル、SDH/SONETクライアント信号のマッピングに対応
- 遅延測定
- OTNヘッダの編集とキャプチャ解析
- OTN TCMのモニタリングと生成
- APSアプリケーションを使用したサービス断時間測定をサポート
- OTNトリビュタリスキャン機能（10Gbpsまで）
- OTN信号内のクライアントオーバーヘッドとペイロードのモニタ
- イベントログ
- VIPによる光ファイバ端面チェック

*：米国、カナダ、日本、全EU加盟国を含む、認定を受けた国・地域で利用可能です。最新情報については、アンリツにお問い合わせください。



複雑なOTNマッピングもわかりやすく簡単に確認可能



テストの合否判定と不合格ポイントのカラー表示

試験モジュール

- 10G マルチレートモジュール MU110010A
最大2ポート：1.5Mbps～10Gbps（SFP/SFP+、RJ45、BNC、バンタム）



- 100G マルチレートモジュール MU110011A
最大1ポート：40Gbps（CFP）、100Gbps（CFP）
最大2ポート：10Mbps～40Gbps（QSFP+、SFP/SFP+、RJ45）



- 40/100G モジュール MU110012A
最大2ポート：40Gbps～100Gbps（CXP、QSFP+）



Bluetooth®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、アンリツはライセンスに基づきこのマークを使用しています。